

※ 今週のアウトルック (5/10~5/14)

先週は木曜日までは比較的小さな動きとなる通貨ペアが多かったですが、金曜日の米国雇用統計の悪化を受けて、ドル売りが進みました。

今週は、雇用統計失望感からのドル売りがどの程度進むのかがまずは注目されます。ユーロドル、ポンドドルなどは上昇トレンド再開への足掛かりをつかみつつあり、こちらの状況にも注目が集まりそうです。

先週のドル円は、金曜日の米国雇用統計悪化を受けて108円台半ばまで下落してそのままNY市場を終了しています。

今週はまず、ドル売りがどの程度まで進むのかが注目されますが、この所のサポートラインである107円中盤あたりまでで下げ止まるかどうかポイントとなりそうです。

ドル円の予想レンジは105円から109.5円です。

ユーロ円はドル売りの影響から、金曜日には132円台まで上昇してそのままNY市場を終了しています。

今週は132円中盤付近のレジスタンスを抜けられるかがまずはポイントとなりそうですが、市場センチメントからはいささかブレイクできる可能性の方が高いように思います。

ユーロ円の予想レンジは131円から133.5円です。

ポンド円はかなり狭いレンジ内での動きとなっていましたが、ドル売りによるポンドドルの上昇から、153円付近のレジスタンスをブレイクできる可能性が高まっているように思います。

ポンド円の予想レンジは150円から155円です。

ドル売り再開の兆しが強くなってきています。107円を完全に割ってしまう状況では、105円付近までの急落も考慮する必要が出てきそうです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。